

## 観光地域づくり法人形成・確立計画

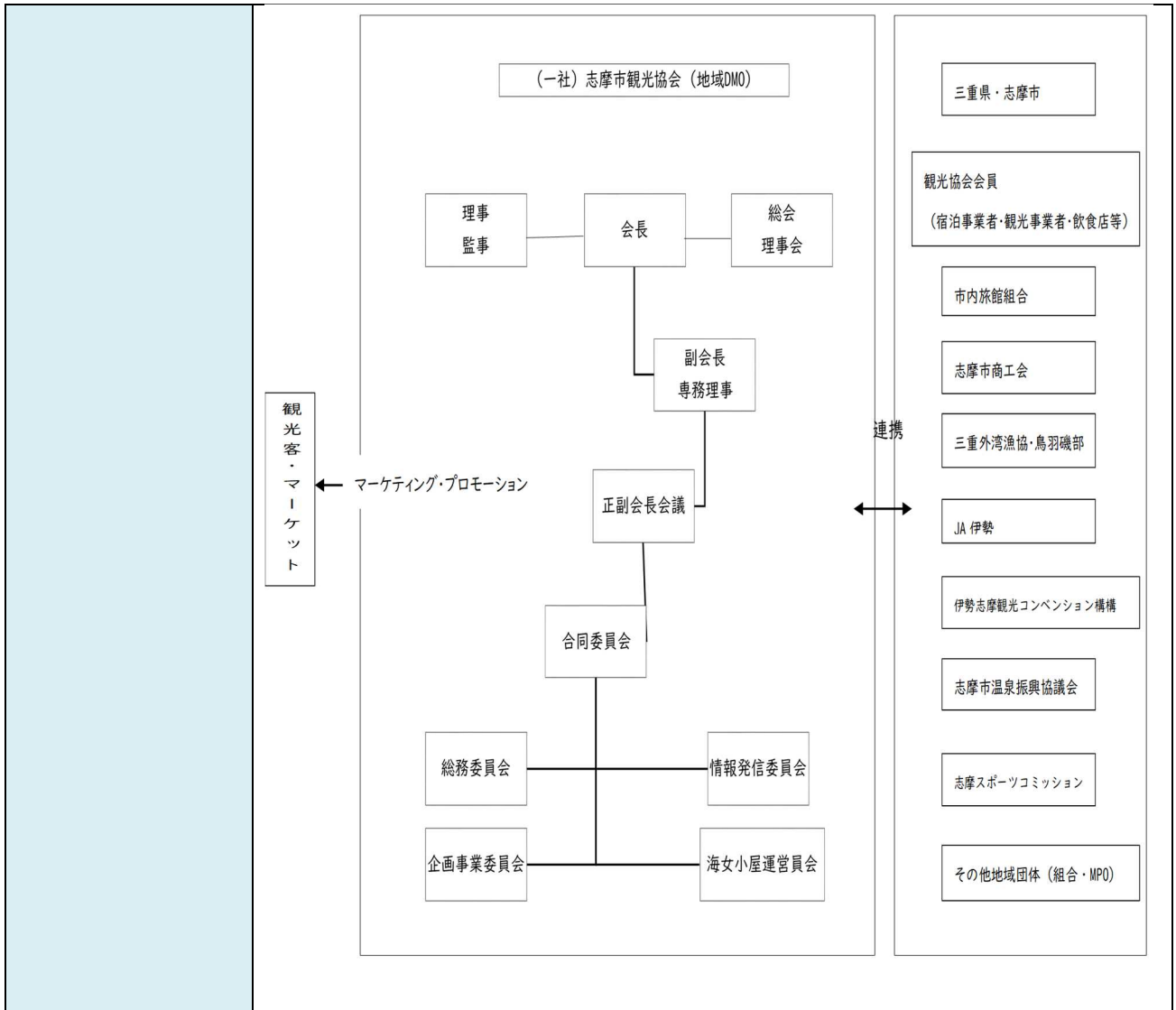
記入日：令和5年 8月25日

### 1. 観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを ○で囲むこと	広域連携DMO・地域連携DMO・ <u>地域DMO</u>	
観光地域づくり法人の名称	(一社) 志摩市観光協会	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 三重県 志摩市	
所在地	三重県 志摩市 阿児町 鶯方 1670 番地 2	
設立時期	平成17年4月1日 志摩市観光協会 設立 (平成29年4月3日法人化)	
事業年度	4月1日から翌年3月31日までの1年間	
職員数	17人【常勤6人(正職員5人・出向等1人)、非常勤11人】	
代表者(トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者) ※必ず記入すること	(氏名) 西尾 新 (代表理事) (出身組織名) (一社) 志摩市観光協会	(一社) 志摩市観光協会の会長として、地域の様々なパイプ役となっており、在任期間中、三重県法人会副会長を務め、市役所、商工会等々様々な各種団体の役職を歴任している。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者(CMO：チーフ・マーケティング・オフィサー) ※必ず記入すること	(氏名) 岡田 英美 【専従】派遣(専務理事) (出身組織名) (株) 近畿日本ツーリスト 中日本支社 志摩市役所へ出向(産業振興部 副参事)、(一社) 志摩市観光協会へ派遣	1988年近畿日本ツーリスト入社以降、教育旅行関連業務に長年従事。2014年には、近畿日本鉄道に出向し、伊勢志摩地域への送客事業や本市で開催されるスポーツイベント等を多数担当。2019年に近畿日本ツーリスト中部地域交流部に配属されて以降も、当市への誘客事業に数多く携わり、本地域の観光産業・資源への知見が深い。
財務責任者(CFO：チーフ・フィナンシャル・オフィサー) ※必ず記入すること	(氏名) 西崎 巳喜【専従】(特任専務理事) (出身組織名) (一社) 志摩市観光協会	志摩市役所に42年間勤務。出納・税務・商工観光・教育・福祉業務等に携わる。協会の持続可能な運営のため、運営収支や財源確保に関する検討を行い協会の自立に向けて取り組む。
販売旅行商品の造成等旅行業務取扱い・プロモーション責任者	(氏名) 西崎 晋介 事務局次長(専従) (出身組織名) (一社) 志摩市観光協会	国内の各プロモーション等、旅行業務取扱い他各種広報・宣伝業務に取り組む。 国内旅行業務取扱管理者

インバウンドの責任者（専門人材）	（氏名）城 貴道 統括マネージャー（専任） （出身組織名） （一社）志摩市観光協会	三重県、志摩市、伊勢志摩観光コンベンション機構等と連携し、国内外プロモーション等海外誘客事業に取り組む。				
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	志摩市 産業振興部 観光課（観光戦略・振興）、農林課（農業振興） 水産課（水産振興）、商工課（商工振興・雇用対策）、 政策推進部 政策推進課（政策調整・地域活性化・SDGs 未来都市推進室） 教育委員会 生涯学習課（文化振興） 病院事業部 志摩市民病院					
連携する事業者名及び役割	志摩市商工会（事業者支援、物産振興、着地型観光） 各地区旅館組合「5地区8団体」（受入体制整備、着地型観光） JA 伊勢阿児支所（着地型旅行商品造成） JF 三重外湾漁協・鳥羽・磯部漁協（着地型旅行商品造成） （公社）三重県観光連盟（広域観光、プロモーション） （公社）伊勢志摩観光コンベンション機構（広域観光、プロモーション） 近畿日本鉄道（株）（一次交通） 三重交通（株）（二次交通） （一社）志摩スポーツコミッション					
官民・産業間・地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	<b>【該当する登録要件】②</b> ・協会の役員（理事）には地元観光資源の関係者、宿泊事業者、交通事業者、商工会、行政（オブザーバー）が参画。理事会において意思決定が成される。 ・下部組織には4つの委員会（総務、企画事業、情報、海女小屋）を設置。それらの横串となる合同委員会も設置して連携を諮っている。 ・協会内で毎週の「業務進捗状況」を報告するミーティングを開催して役員や市の関係者にも連携。加えて2カ月毎に市および伊勢志摩観光コンベンション・近鉄との連携会議も開催し、官民・産業間・地域間との合意形成の機会を設けている。					
地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組	・今年度より「志摩検定」講座を実施。今後は観光資源のテキスト化にも取り組み、観光ガイド養成も計画中。 ・毎年、志摩市商工会と賀詞交歓会を共催し、市内経済団体、事業者の観光振興への協力体制を深めている。 ・市内高校生の職場体験・インターンシップの受入れ協力や志摩市をはじめとする種々の会議等への参加、協力を通じて、幅広く観光振興への理解を得られるよう取り組んでいる。					
法人のこれまでの活動実績	<b>【活動の概要】</b> <table border="1" data-bbox="432 1559 1406 2004"> <thead> <tr> <th data-bbox="432 1559 619 1608">事業</th> <th data-bbox="619 1559 1406 1608">実施概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="432 1608 619 2004">情報発信・プロモーション</td> <td data-bbox="619 1608 1406 2004">           ・インバウンドにおいては東アジア、東南アジアを中心とした団体ツアー獲得のために国内外の旅行会社・ランドオペレーターセールスを250件（社）実施。各組織からの招聘事業等における施設受入、視察アテンドも47件実施（旅行会社その他、国内外インフルエンサー、メディア等）。リアルおよびオンラインの会議も108件実施。            ・教育旅行誘致においては、コロナによる県内および近場志向の高まりにより令和3年、4年は平常時の倍以上の来訪があったことにより、コロナ終息後においても引き続き来訪いただけるための取組を実施。「満足度向上事業」として来訪された生徒先生にノベルティー（あおさ風味のベビースター         </td> </tr> </tbody> </table>		事業	実施概要	情報発信・プロモーション	・インバウンドにおいては東アジア、東南アジアを中心とした団体ツアー獲得のために国内外の旅行会社・ランドオペレーターセールスを250件（社）実施。各組織からの招聘事業等における施設受入、視察アテンドも47件実施（旅行会社その他、国内外インフルエンサー、メディア等）。リアルおよびオンラインの会議も108件実施。 ・教育旅行誘致においては、コロナによる県内および近場志向の高まりにより令和3年、4年は平常時の倍以上の来訪があったことにより、コロナ終息後においても引き続き来訪いただけるための取組を実施。「満足度向上事業」として来訪された生徒先生にノベルティー（あおさ風味のベビースター
事業	実施概要					
情報発信・プロモーション	・インバウンドにおいては東アジア、東南アジアを中心とした団体ツアー獲得のために国内外の旅行会社・ランドオペレーターセールスを250件（社）実施。各組織からの招聘事業等における施設受入、視察アテンドも47件実施（旅行会社その他、国内外インフルエンサー、メディア等）。リアルおよびオンラインの会議も108件実施。 ・教育旅行誘致においては、コロナによる県内および近場志向の高まりにより令和3年、4年は平常時の倍以上の来訪があったことにより、コロナ終息後においても引き続き来訪いただけるための取組を実施。「満足度向上事業」として来訪された生徒先生にノベルティー（あおさ風味のベビースター					

	<p>ラーメン)の贈呈とカヤック体験時にドローンによる撮影データを贈呈。併せてアンケートを通じて今後の意向データを分析し、誘致活動に活用している。誘致活用については県内や近隣県、首都圏から関西にかけての103件実施。また旅行会社を招聘した視察ツアーも実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その他国内でのプロモーションとしては近鉄と連携し、近鉄主催のイベントへの参画(鉄道まつりや観光列車お披露目式)を通じて観光PRやおもてなしを実施。</li> <li>・当協会が運営する海女小屋体験施設「さとみ庵」についての国内外へのセールス及び商談会にも積極的に参加。様々なイベントでの海女派遣を通じて海女文化及び海女漁の現状の周知に努めた。クールジャパンアワード2019、トリップアドバイザー「エクセレンス認証」(2019)「トラベラーズチョイス」(2020~2022)受賞。</li> <li>・御食国志摩写真コンテスト(隔年実施)</li> </ul> <p><b>受入環境の整備</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公式HPのリニューアル及び保守管理業務として、アクセス数増加のための様々な取組(翻訳のクオリティー向上、特集記事の制作、情報発信の頻度向上)を実施。</li> <li>・道の駅伊勢志摩の指定管理の受託。これにより既存の観光案内所(近鉄鵜方駅内)と合わせ、車と公共交通の両方の利用者をカバーできるようになった。</li> <li>・案内所窓口においてレンタサイクルや手荷物預かり(市内ホテルへの配送も)業務を実施。</li> <li>・JNTO認定観光案内所カテゴリ-3取得(県下初認定)</li> </ul> <p><b>観光資源の磨き上げ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光庁 地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業。日本遺産である海女文化、英虞湾、真珠の志摩三大コンテンツを軸に富裕層をターゲットとしたプレミアムツアーを造成、販売整備、情報発信を実施。</li> <li>・三重県 拠点滞在型観光×三重ブランディングに向けた観光資源の魅力創出モデル事業。上記創出事業のコンテンツを活用し同時に情報発信、販売支援を実施。</li> </ul>
<p><b>実施体制</b> ※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること(別添可)。</p>	<p><b>【定量的な評価】</b> 会員数は令和4年3月31日現在373会員(市内の主要な事業者が加入している状況)</p> <p><b>【実施体制の概要】</b> (一社)志摩市観光協会が母体となり、メンバーには、行政、宿泊業者、飲食業者に加え、交通事業者、アクティビティ、農林水産事業者、商工業事業者等、多様な関係者が参画する官民が密接に連携した運営を実施。</p> <p><b>【実施体制図】</b></p>



2. 観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

2016年、第42回先進国首脳会議（伊勢志摩サミット）が市内の賢島で開催された志摩市は英虞湾に浮かぶ大小およそ60の島々、岬や入り江などが織り成すリアス海岸と呼ばれる複雑な海岸線からなる日本の原風景とも呼べる景色と古くから朝廷や神宮に食料を献上していた歴史があり、良質な海産物が豊富である。市の全域は伊勢志摩国立公園に含まれるが、その大部分が民有地である。このように古くから自然と共生し、海女や真珠養殖などに代表される自然の恵みを持続可能な形で生業としてきたこの市域を区域としてDMO運営を設定することで、「SDGs 未来都市」、「ゼロカーボンパーク」を標榜する志摩市とも、より一層の連携を図るものである。面積：178.95km<sup>2</sup>（平成29年全国都道府県市区町村別面積調） 人口：45,827人（令和5年3月31日現在）

【観光客の実態等】

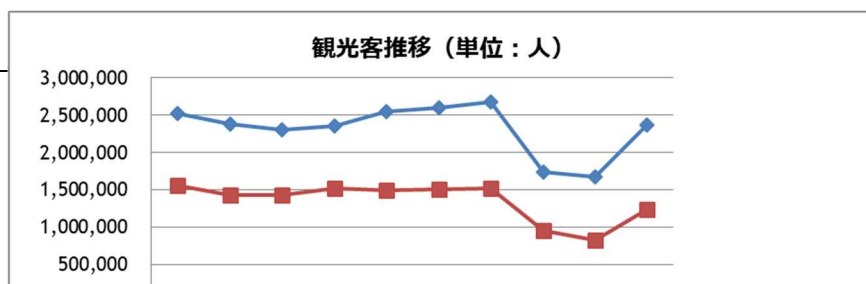
令和4年の観光入込客数は約360.7万人となり、前年比144.7%となった。また、コロナ禍以前の令和元年と比較すると、86.1%（▲13.9%）となっている。【図1】

宿泊客、日帰り客ともに、コロナの影響により落ち込んでいるが、県民割や全国旅行支援の効果により回復傾向が見られた。

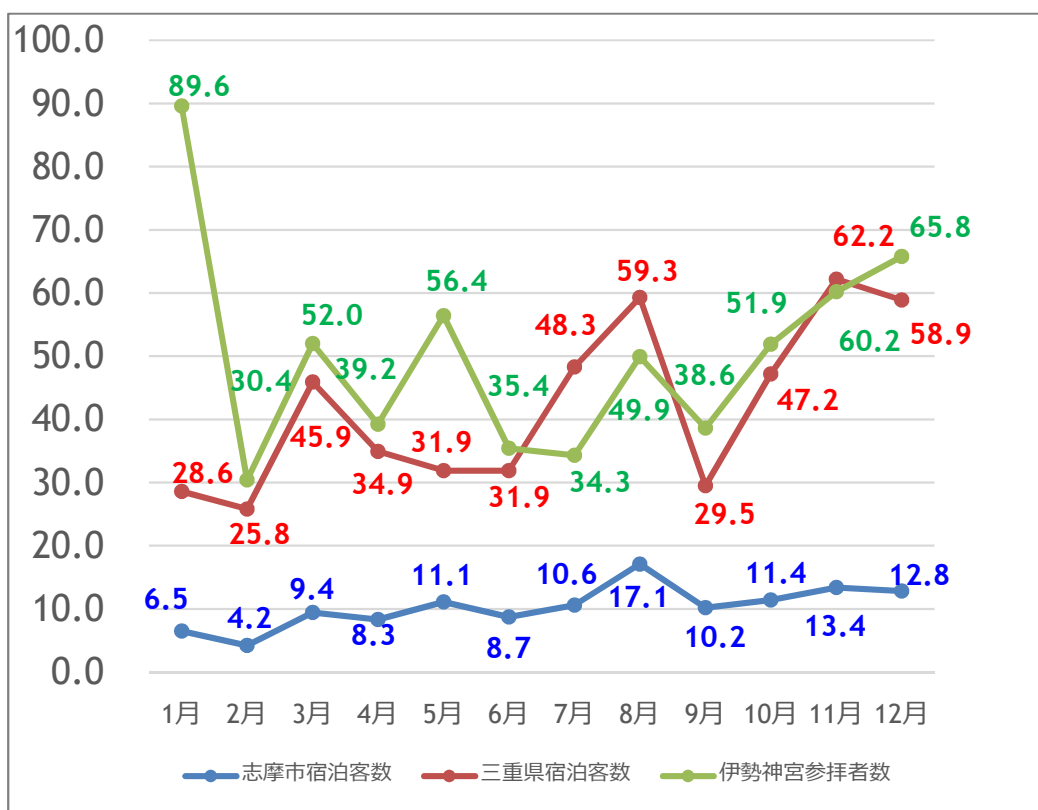
■ 【図1】 志摩市入込客数

	R04 (人)	R03 (人)	前年比 (%)
合計	3,606,617	2,492,819	144.7
日帰り客数	2,370,310	1,674,458	141.6
宿泊客数	1,236,307	818,361	151.1
うち外国人	4,152	687	604.4

■ 【図2】 直近10年の観光客数の推移



■【図3】志摩市、三重県の宿泊客数及び伊勢神宮参拝者数（年間推移）



【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

主な観光施設として、志摩スペイン村、志摩地中海村、キャンプ場（グランピング施設）ほか多様なタイプの宿泊施設、伊雑宮、横山展望台（景観）、桐垣展望台（景観）、参観灯台（安乗・大王埼）などがある。

志摩には地域の祭りも多く、特に、潮かけ祭、御田植祭、わらじ祭は志摩の三大祭りと称されており、それぞれ800年、650年、300年の歴史がある。

・志摩半島では全国で最も多くの海女が操業している。市内には海女文化を体験できる海女小屋体験施設『さとうみ庵』があり（当協会が運営）、海女が漁の間に休憩する海女小屋を模した建物の中で食事や海女さんとの交流、伊勢えびやあわび等、旬の食材を本物の海女さんに焼いてもらいながら食事をする事ができる。

・志摩市は真珠養殖発祥の地であり、市内には真珠の取り出しや真珠を加工してオリジナルのアクセサリ作りができる場所がある。

・志摩の豊かな自然、温暖な気候によりスポーツ（イベント）も盛んである。

伊勢志摩ツーデーウオーク（ウォーキング）  
 志摩ロードパーティ（マラソン）  
 伊勢志摩サイクリングフェスティバル  
 伊勢志摩・里海トライアスロン大会  
 伊勢志摩ササユリカップシニアソフトボール大会  
 海水浴場（市内5カ所）  
 ゴルフ（市内4カ所）  
 ビーチサッカー、サーフィン（市内3カ所）、ダイビング、カヤックなどのマリンスポーツ等。  
 サイクリングコースやウオーキングコースも設定されている。

**【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】**

調査実施時点（R4年）での志摩市内の宿泊施設数は 143 施設、市全体の1日当たりの宿泊客収容人数は、12,479人となっている。【図1】

■ 【図1】 地区別 宿泊施設収容力

	施設数 (施設)	部屋数 (部屋)	収容人数 (人)
志摩市	143	3,513	12,479
阿児	69	1,417	4,517
浜島	15	440	1,715
大王	16	269	1,547
志摩	25	330	1,508
磯部	18	1,057	3,192

■ 【図2】 施設形態別 宿泊施設収容力

	施設数 (施設)	部屋数 (部屋)	収容人数 (人)
合計	143	3,513	12,479
国際観光ホテル整備法（登録ホテル）	8	1,110	2,699
国際観光ホテル整備法（登録旅館）	10	519	2,396
その他ホテル・旅館	63	1,254	4,083
民宿	33	273	786
ペンション・ユースホステル	7	63	231
保養所	7	55	175
その他(キャンプ場、バンガロー、コテージ他)	15	239	2,109

(※1) 国際観光ホテル/旅館：1949年（昭和24年）12月24日に施行された国際観光ホテル整備法（昭和24年12月24日法律第279号）に基づき、観光庁長官が登録を行ったホテルや旅館。

【R05.1.11時点 志摩市内の登録ホテル/旅館】

登録ホテル：志摩観光ホテルザクラシック、ベイスイート、ホテル志摩スペイン村、クインテッサホテル伊勢志摩、都リゾート奥志摩アクアフォレスト、ホテルプロヴァンス、Hotel&Resorts ISE-SHIMA、志摩地中海村、海辺のホテルはな、都リゾート志摩ベイサイドテラス

登録旅館：宝来荘、賢島宝生苑、ともやま観光ホテル、福寿荘、賢島パークホテルみち潮、ニュー浜島、シーサイドホテル鯨望荘、はいふう、汀渚ばさら邸、賢島グランドホテル、リゾートホテル志摩彩朝楽

**【利便性：区域までの交通、域内交通】**

鉄道網は近畿日本鉄道（近鉄）志摩線が敷設され、大阪・京都・名古屋方面など近鉄の主要な路線網を介して各地と結ばれている。道路網は、国道は 167 号と 260 号の 2 本が市域を縦貫している。その他の主な道路は県道 16 号と県道 17 号が市の西側に延びており、前者は的矢と五ヶ所浦（南伊勢町）を、後者は鵜方と浜島を接続している。このほか、伊勢市と繋がる県道 32 号（伊勢道路）および、的矢湾付近を経由し鳥羽市の生浦湾までを結ぶ観光道路の県道 128 号（パールロード）がそれぞれ放射状に延びている。なお、海上区間には航路がある。間崎島と渡鹿野島には本州と架橋されていないため志摩マリンレジャーによる定期船と志摩市運用の県道船などが運行されているほか、英虞湾遊覧船などが運行されている



	電車	バス	車	最寄りのバス停				
志摩 スペイン村	13分							
横山展望台 *1			8分	17分				
賢島駅	5分	30分	7分	13分				
安東埴灯台 *2	24分	37分	26分	41分				
磯苗岬 展望台	26分	39分	21分	43分				
大王埴灯台	23分	24分	29分	20分				
志摩 自然学校	20分	25分	28分	20分				
海女小屋 体験施設 さとうみ庵	57分	70分	64分	74分				
F あづり浜	30分	37分	38分	30分				
	磯方駅	志摩 スペイン村	横山展望台 *1	賢島駅	安東埴灯台 *2	磯苗岬 展望台	大王埴灯台	志摩 自然学校

○目安の時間ですので、詳細については各公共交通機関の窓口へお問い合わせください。

○バスの時間は、最寄りのバス停までの時間です。

\*1 横山展望台～最寄りのバス停（横山登山口）および駅（志摩横山駅）は、徒歩約50分かかります。

\*2 安東埴灯台～最寄りのバス停（安東）は、徒歩約20分かかります。

【外国人観光客への対応】

令和3年度 JNTO 認定観光案内所のカテゴリ-3 を取得。外国人への対応とおもてなしを対面で行っている。また、横山展望台からの復路でのタクシー利用の際の配車要請において、電話ができない



インバウンド客を対象に、google フォームによる配車依頼システムを構築した。当協会運営の海女小屋体験施設「さとうみ庵」についても多言語ホームページや英語併記のパンフレットを活用している。平成 26 年度より外国人観光客誘致推進事業員を市の予算措置を受け配置し、三重県、伊勢志摩の行政・民間施設・各種団体との広域連携とセールス活動、情報発信を行っている。

### 3. 各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	観光消費額の拡大を目指し、一人当たり消費額を上げる質の高い観光地づくりを行うための指標とする。	三重県観光レクリエーション入込客推計書の伊勢志摩における消費単価を参考とする。
延べ宿泊者数	志摩市の延べ宿泊者数を把握し、市内滞在時間増加のための指標とする。	観光協会で実施する調査に基づき算出される志摩市観光統計の延べ宿泊者数を参考とする。
来訪者満足度	顧客満足度から質の高い魅力ある観光地づくりの指標とする。	三重県観光レクリエーション入込客推計書の伊勢志摩における全国基準による、四半期毎の調査実施
リピーター率	顧客ニーズの把握	同上
WEBサイトのアクセス状況	志摩市等の観光情報発信を行うとともに、地域に対する顧客の需要や関心度や施策の効果等を把握するため、多言語ページ、AI チャットボットもあわせて構築。	グーグルアナリティクス等を活用し、アクセス数をはじめとするサイトの分析を実施。
住民満足度	観光振興に対する地域住民の理解度を測るため。	市が実施するアンケート調査の「志摩市の魅力（誇れること）を人に語る（伝える）ことができますか」「志摩市の一番の魅力（誇れること）を教えてください」および自由記述の内容を参考にしている。
外国人観光客数	外国人観光客数を把握し、セールス活動や受入れの体制づくりに係る施策の指標とする。	インバウンド専任職員による市内施設への調査をもとに算出している。
観光経済波及効果	観光産業による市内への経済波及効果を拡大することを目的として、3～5年に一度の経済波及効果を調査し、観光消費額及び域内調達率の向上に向けた施策を行うための指標とする。	市内の観光に関わる事業所への域内調達率調査（経済センサスデータ参照）、観光客の消費額調査、年間観光客数調査からの算出を検討する。

### 4. 戦略

## (1) 地域における観光を取り巻く背景

志摩市では、若者の都市部への流出と、全国的な少子高齢化による影響も受け人口減少が進んできており、高齢化率の増加に加えて、地場産業の担い手不足から第1次、2次、3次産業においても高齢化が進み、平成16年の市の合併後も事業所や就業者が減少傾向にあると同時に、市の人口も毎年減少してきている。こうした傾向は、真珠養殖産業から観光産業へとシフトしてきた本市において長期化するコロナ禍が暗い影を落とすとともに、地域の経済活動をも縮小化させている。こうした地域の課題に対し、コロナ禍の終息後を見据えて、恵まれた豊かな自然から生み出される志摩市の魅力を最大限利活用し、観光資源として顧客視点に立った観光地域づくりを図り、外貨獲得の手段として観光産業の振興を図る必要がある。また、新たな自然体験コンテンツ等を充実させることで、交流人口の増加につなげて若者に好まれるような雇用の創出や既存産業の担い手不足の解消につながるよう、日々取り組んでいる。今回、当協会が中心となり、観光地域づくり法人（DMO）として、官・民一体となり連携をすることで、全域が国立公園である本市が、神代の昔から受け継がれてきた自然公園を国民の財産として新たな磨きをかけた観光地として、地域経済の維持・発展のため志摩市の総合計画・観光振興計画との整合性を保ち、しっかりと事業推進・情報発信に取り組んでいきたい。

## (2) 地域の強みと弱み

	好影響	悪影響
内部環境	<b>強み (Strengths)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本の原風景と呼ばれる自然環境、歴史、文化</li> <li>自然の恵みに育まれた食文化、海女文化等の豊かな観光資源</li> <li>高級リゾートホテル・旅館・民宿・キャンプ場（グランピング）等の幅広い宿泊施設</li> <li>御食国の魅力ある食文化</li> <li>市内19ヶ所の温泉施設</li> <li>JNTO 認定観光案内所カテゴリー3 取得</li> </ul>	<b>弱み (Weaknesses)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>伊勢神宮の近隣というロケーションのポテンシャルを活かしきれていない</li> <li>観光施設等の様々なコンテンツ間を結ぶ、移動手段としての二次交通の脆弱さ</li> <li>観光業における繁閑差（入込の局地化）</li> <li>情報発信力不足</li> <li>市内各種団体との広域連携がまだまだ弱い</li> </ul>
外部環境	<b>機会 (Opportunity)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>伊勢志摩サミット開催地としての知名度の向上</li> <li>全国から来訪する伊勢神宮参拝者の市内への誘客</li> <li>「海女（Ama）に出逢えるまち 鳥羽・志摩～素潜り漁に生きる女性たち」文化庁「日本遺産」認定</li> <li>大阪万博開催</li> <li>リニア中央新幹線開通</li> <li>G7三重・伊勢志摩交通大臣会合</li> </ul>	<b>脅威 (Threat)</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>農林業、漁業、観光業従事者の高齢化による従事者不足</li> <li>台風などの風水害による影響の受けやすさ</li> <li>南海トラフを震源とする大規模地震の発生リスク</li> <li>人口減少</li> <li>過疎化</li> <li>磯焼けによる海女の減少</li> <li>公共交通の交通網や運行回数の減少</li> </ul>

※上記に加え、PEST分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

## (3) ターゲット

<p>○第1ターゲット層</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内：大阪府とその他関西圏のアクティブシニア層とファミリー層</li> <li>・海外：台湾・香港FIT 訪日リピーター層の内、上位中間～富裕層</li> </ul>
<p>○選定理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内：最も発地率の高い地域（令和4年三重県観光客実態調査報告書）で、近鉄線で大阪、京都から直通列車が運行されており、利便性も高い。修学旅行で来訪する学校も多くあることから、将来的な再訪に向けた取り組みも可能である。</li> <li>・海外：親日性・リピーター率・日本文化への関心の高い国であり、県の施策とも連携。長期滞在による観光消費額の向上も見込む。</li> </ul> <p>○取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内：観光庁の「地域の観光資源の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業」に今年度取り組んでおり、海女技術体験、漁師体験、海女・漁師飯出張体験等新しい体験コンテンツの商品化をするための実証実験やインバウンドの誘客も視野に入れて、二次交通の利便性の向上を図るなかで連泊環境の整備を行っていく。</li> <li>・海外：上記、国内向けのコンテンツの利活用と台湾・香港等の海外の旅行者が、安心・安全に志摩滞在を行うための、受入環境の整備を行う。具体的には、指差し会話ツール（事業所毎）の作成、レンタカー利用者案内・2次交通情報集約ツール等受入環境の整備を行うなかで、長期滞在ができる環境整備を行っていく。</li> </ul>
<p>○第2ターゲット層</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内：次に発地率の高い愛知県と中部圏のアクティブシニア層とファミリー層</li> <li>・海外：欧米、訪日リピーター層の内、上位中間～富裕層</li> </ul> <p>○選定理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内：関西圏に次いで発地率の高い地域（令和4年三重県観光客実態調査報告書）。関西圏同様、交通アクセスが良好（鉄道・高速道路）である。岐阜県をはじめ山間地域への魅力発信を通じ、宿泊を伴う観光客を取り込むことが可能。</li> <li>・海外：G7伊勢志摩サミットの開催により飛躍的に向上した知名度、順調に推移してきた入込み客数は、コロナ禍の影響で低迷しているが、旅行単価が高く、観光消費額の向上に高い効果が見込まれる。AMANEMU・志摩観光ホテル（ベイスイート）等高級リゾートホテルを始め、近年、グランピング施設も充実し、宿泊受入環境が整っている。</li> </ul> <p>○取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内：観光庁の「地域の観光資源の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業」に、今年度取り組んでおり、さらに魅力ある海女技術体験、漁師体験、海女・漁師飯出張体験等新しい体験コンテンツの商品を利活用し、インバウンドの誘客も視野に入れて、二次交通の利便性の向上を図る中で、連泊環境の整備を行っていく。</li> <li>・海外：上記、国内向けのコンテンツの利活用と欧米等の海外の旅行者が、安心・安全に志摩滞在を行うための、受入環境の整備を行う。具体的には、指差し会話ツール（事業所毎）の作成、レンタカー利用者案内・2次交通情報集約ツール等受入環境の整備を行うなかで、長期滞在ができる環境整備を行っていく。</li> </ul>
<p>○第3ターゲット層</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内：三重県内のアクティブシニア層とファミリー層</li> <li>・海外：タイ、東南アジア諸国</li> </ul> <p>○選定理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内：三重県の観光客実態調査報告書によると、当地域は、「おいしいものを食べる」、「自然風景を見て回る」、「のんびり過ごす」と食・文化・癒しと人気が高い。コロナ禍にあっては、県内旅行者による観光は地域の安心感の醸成にも寄与。</li> <li>・海外 県の観光施策とも連携し、主要なターゲットに位置づけられる。</li> </ul> <p>○取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内：観光庁の「地域の観光資源の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業」に、今年度取り組んでおり、海女技術体験、漁師体験、海女・漁師飯出張体験等新しい体験コンテンツの商品</li> </ul>

化をするための実証実験やインバウンドの誘客も視野に入れて、二次交通の利便性の向上を図る中で連泊環境の整備を行っていく。

- ・海外：上記、国内向けのコンテンツの利活用とタイ・東南アジア諸国等の海外の旅行者が、安心・安全に志摩滞在を行うための、受入環境の整備を行う。具体的には、指差し会話ツール（事業所毎）の作成、レンタカー利用者案内・2次交通情報集約ツール等受入環境の整備を行う中で長期滞在ができる環境整備を行っていく。

#### (4) 観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	<p>「豊かな自然と共生する歴史・文化・海女に出会えるまち志摩」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・恵まれた豊かな自然から生み出される志摩市の魅力の情報発信。</li> <li>・食・歴史・文化・温泉等を利活用した、自然体験コンテンツの充実。</li> <li>・癒しの受入環境の整備</li> </ul>
②コンセプトの考え方	<p>新しい生活様式とSDGsの観点を踏まえ、豊かな自然、歴史、伝統、地域のライフスタイルや食文化、スポーツなどを活かした体験型観光コンテンツにより、魅力の発信とリピーター（志摩市ファン）を増加させ、持続可能な観光地経営を実践する。宿泊滞在の長期化をめざし、観光客のニーズに合ったこの地ならではの、真珠の核入れ・取り出し・加工体験や海女と一緒に潜る海女漁体験等の提案を行い、地域全体でのおもてなし連携体制の構築を図る。</p>

### 5. 関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
<p>戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。</p>	<p>正副会長・専務理事及び事務局による正副会長会議、委員会（総務、企画事業、情報、海女小屋および合同）、他団体（志摩市観光課、伊勢志摩観光コンベンション機構、近鉄）との会議</p> <p>正副会長会議（理事会前に随時）を中心として、各委員会（不定期開催）からの意見や要望を理事会（年6回ほど）において審議することで、市内の関連事業者との情報共有を図る。取り組みの検証については、決算報告を理事会において審議し、承認後の通常総会において全会員に共有し承認を得て、地域の関係者に説明を行うとともに公表している。</p>
<p>観光客に提供するサービスについて、維持・向上・評価する仕組みや体制の構築</p>	<p>協会において定期的に観光アンケート調査（案内所利用者、横山VIEW タクシー利用者、レンタサイクル利用者、道の駅利用者）を実施。伊勢志摩観光コンベンション機構が実施する旅行者アンケートと合わせ、定期的に採取することで顧客サービスの向上を図っている。</p>
<p>観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション</p>	<p>地域観光のプラットフォームとして、近鉄鵜方駅構内に案内所と事務所を構えている。地域DMOとして地域の様々な情報を集約し、顧客に対しワンストップ窓口として、満足していただけるよう体制づくりを行っている。また、集約した情報は、積極的にフェイスブック、インスタグラム、ウェブサイト等を活用し効果的な情報発信を行っている。</p>

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

### 6. KPI（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後3年間における明確な数値目標を記入すること。

※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去3年間の実績も記入すること。

### (1) 必須KPI

指標項目		2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度
●旅行消費額 (百万円)	目標	( )	( )	71,400 ( )	76,500 ( )	77,400 ( )	78,000 ( )
	実績	37,339 (160)	39,970 (21)	53,122 ( )			
●延べ宿泊者数 (千人)	目標	( )	( )	1,300 ( )	1,300 ( )	1,400 ( )	1,800 ( )
	実績	950 (4)	818 (1)	1,236 (4)			
●来訪者満足度 (%)	目標	( )	( )	( )	98.0 ( )	98.0 ( )	98.0 ( )
	実績	96.0 ( )	96.4 ( )	97.4 ( )			
●リピーター率 (%)	目標	( )	( )	89.0 ( )	90.0 ( )	91.0 ( )	92.0 ( )
	実績	87.1 ( )	87.5 ( )	82.8 ( )			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

### 目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

#### 【検討の経緯】

目標数値については、国、県、市等の各種データを分析し算定。現在は、志摩市観光協会内の各委員会、理事会において、事業計画（予算）策定の協議の際に検討されるが、協議会の立ち上げ後は、連携を密に目標数値の設定を図る。

#### 【設定にあたっての考え方】

##### ●旅行消費額

市内周遊、滞在を促し、消費額の増加につなげるための成果を把握して、より効果的な企画立案につなげる。三重県観光レクリエーション入込客数推計書・観光客実態調査、志摩市観光統計（インバウンド）に基づき算出。令和4年度以降は、コロナ禍以前の水準への回復を目標に推計。

##### ●延べ宿泊者数

上記の各種統計調査を参照に、観光施策等が宿泊者の増加につながっているかを検証して、より効果的な誘客事業の企画立案につなげる。志摩市観光統計に基づき算出。現在は、行動制限は無くなったものの不安定要素は残っている。故にコロナ禍以前の水準への回復を目標に推計。

##### ●来訪者満足度

志摩市における観光の魅力づくり、地域・人づくりの各種取組の成果を測る。三重県観光レクリエーション入込客数推計書・観光客実態調査に基づき算出し目標値を設定。

##### ●リピーター率

新規来訪者を獲得することとあわせ、よりコアな志摩市ファンの増加を目指し、再訪の動機となる志摩市における新たな観光の魅力づくり、地域・人づくりの各種取組の成果を測る。三重県観光レクリエーション入込客数推計書・観光客実態調査に基づき算出し目標値を設定。

## (2) その他の目標

指標項目		2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2025 (R7) 年度
●ふるさと納税事務手数料 (千円)	目標	12,000 ( )	13,500 ( )	6,700 ( )	7,000 ( )	8,500 ( )	10,000 ( )
	実績	15,600 ( )	19,749 ( )	6,976 ( )			
●海女小屋体験施設「さとうみ庵」の売上 (千円)	目標				45,000 ( )	50,000 ( )	60,000 ( )
	実績	29,404 ( )	30,818 ( )	54,897 ( )			
●地域限定旅行業事業手数料 (千円)	目標		800 ( )	1,000 ( )	2,800 ( )	5,000 ( )	7,500 ( )
	実績		317 ( )	594 ( )			
●案内所窓口販売事業収入 (千円)	目標			850 ( )	2,500 ( )	5,000 ( )	7,500 ( )
	実績			1,259 ( )			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

※各指標項目の単位を記入すること。

## 指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

### 【検討の経緯】

当協会が目指すまちは、豊かな自然から生み出される志摩の魅力を最大限に利活用し、市民一人ひとりが、この地を訪れる人々におもてなしができるまちです。令和4年7月の志摩市のまちづくりに関するアンケート調査において、市民の69%が市に愛着や誇りを感じるとともに、53%が住みやすいと感じ、また68%の市民が住み続けたいと思っている。その市の持つ魅力を伝えるために当協会は、収益を上げることで自主財源の確保と自立を目指して事業を展開している。

### 【設定にあたっての考え方】

#### ●ふるさと納税事務手数料

ふるさと納税の返礼品として、市内観光施設などで宿泊費・飲食費として利用できる満喫旅行券を取り扱っており、誘客に繋がり事業者（会員）への還元にもなっており経済効果も大きい。事務手数料についても、ふるさと納税の納税総額が年々増加し、コロナ禍の中でも比較的安定して推移してきた。納税者の満足度が高ければ、リピーターとしての期待もできるものであるが、令和4年度から返礼額3割の9%の手数料であったものが、市側の申し出により470万円の固定費と取り扱い1件につき2千円と改められたことで、手数料受取額が約半額と激減している。

#### ●海女小屋体験施設「さとうみ庵」の売上

協会直営で現役海女の火場焼飲食店を運営している。順調に右肩上がりですべて売上げを伸ばしてきた

ものの、令和2年、令和3年はコロナ禍の感染拡大の影響を受けて大幅に落ち込んだ。今年度は10月の入国規制緩和後は回復の兆しを見せて来ており、全国旅行支援やアソビューの「追い風」もあったおかげで、決算額は過去最高となった。

●地域限定旅行業事業手数料

地域限定旅行業によるスポーツ大会などの宿泊斡旋などに加え、今後は「志摩検定」認定者による観光ガイド付きの着型旅行商品の造成・販売や、志摩ならではのテーマ性のあるSITといったオリジナリティー溢れる商品を積極的に展開し、協会の新たな財源獲得の手段として育てていきたい。

●案内所窓口販売事業収入

こちらも協会の新たな財源獲得の手段として今年度から取り扱いを始めたもので、レンタサイクル事業や手荷物預かり・配送業務、wi-fiルーターの貸出、物販（志摩オリジナル商品（志摩ブランド認定商品など）など）を展開。今後も積極的に展開し拡大していく計画である。

## 7. 活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後3年間について、計画年度毎に（1）収入、（2）支出を記入すること。

※現に活動している法人にあっては、過去3年間の実績も記入すること。

### （1）収入

年（年度）	総収入（千円）	内訳（具体的に記入すること）
2020（R2） 年度	92,736	<b>【前年度繰越】</b> 3,765 <b>【会費】</b> 7,802 <b>【事業収入】</b> 51,175 <b>【受託事業収入】</b> 12,132 <b>【市補助金】</b> 16,552 （運営補助金 10,000） （事業補助金 6,552） <b>【他団体補助金】</b> 1,310
2021（R3） 年度	123,646	<b>【前年度繰越】</b> 2,010 <b>【会費】</b> 7,777 <b>【事業収入】</b> 55,921 <b>【受託事業収入】</b> 50,076 <b>【市補助金】</b> 6,552 （運営補助金 0） （事業補助金 6,552） <b>【他団体補助金】</b> 1,310
2022（R4） 年度	158,741	<b>【前年度繰越】</b> 4,712 <b>【会費】</b> 7,660 <b>【事業収入】</b> 77,495 <b>【受託事業収入】</b> 61,512 <b>【市補助金】</b> 6,052 （運営補助金 0） （事業補助金 6,052） <b>【他団体補助金】</b> 1,310
2023（R5） 年度	153,394	<b>【前年度繰越】</b> 2,749 <b>【会費】</b> 8,000 <b>【事業収入】</b> 78,448 <b>【受託事業収入】</b> 56,348

		【市補助金】 （運営補助金 0） （事業補助金 6,539） 【他団体補助金】	6,539   1,310
2024（R6） 年度	158,990	【会費】 【事業収入】 【受託事業収入】 【市補助金】 （運営補助金 0） （事業補助金 6,000） 【他団体補助金】	8,200 86,180 57,300 6,000  1,310
2025（R7） 年度	165,610	【会費】 【事業収入】 【受託事業収入】 【市補助金】 （運営補助金 0） （事業補助金 6,000） 【他団体補助金】	8,300 90,000 60,000 6,000  1,310

## (2) 支出

年（年度）	総支出（千円）	内訳（具体的に記入すること）	
2020（R2） 年度	92,736	【事業費】 【受託事業費】 【観光環境整備事業費】 【一般管理費】 【次期繰越収支差額】	40,064 12,102 1,310 37,250 2,010
2021（R3） 年度	123,646	【事業費】 【受託事業費】 【観光環境整備事業費】 【一般管理費】 【次期繰越収支差額】	45,254 44,383 1,310 25,987 6,712
2022（R4） 年度	158,741	【事業費】 【受託事業費】 【観光環境整備事業費】 【一般管理費】 【次期繰越収支差額】	70,857 51,712 1,310 32,113 2,749
2023（R5） 年度	153,394	【事業費】 【受託事業費】 【観光環境整備事業費】 【一般管理費】	67,328 54,048 1,310 30,708
2024（R6） 年度	158,990	【事業費】 【受託事業費】 【観光環境整備事業費】 【一般管理費】	69,930 55,048 1,310 32,702
2025（R7） 年度	165,610	【事業費】 【受託事業費】 【観光環境整備事業費】 【一般管理費】	73,850 56,950 1,310 33,500



### (3) 自律的・継続的な活動に向けた運営資金確保の取組・方針

#### 【行政事業の受託による資金の確保】

- ・志摩市からの観光案内業務や観光誘客および受入整備に関する事業を受託

#### 【自主財源の確保】

安定した事業運営を進めるため、内部留保資金の確保を積極的に進めるため、下記事業を積極的に展開

- ・海女小屋体験施設「さとうみ庵」新たな体験型コンテンツとのセットメニューの情報発信と販売
- ・ふるさと納税返礼品の取扱範囲の拡大やPR業務など新たな手数料の確保
- ・志摩ならではの景観や味覚、文化をコンテンツとした着型旅行商品の造成、販売
- ・レンタサイクル事業や手荷物預かり・配送業務、wi-fiルーターの貸出、物販（志摩オリジナル商品（志摩ブランド認定商品など）など）といった窓口販売事業の強化

## 8. 観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

（一社）志摩市観光協会が、地域DMOとして機能することにより、志摩市の観光振興が図られ地域経済の活性化に繋がるものと考えられることから、本市は、（一社）志摩市観光協会を本市における地域DMOとして登録したいので、（一社）志摩市観光協会とともに申請します。

## 9. マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携DMO（県単位以外）や地域DMOと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

【他の地域連携DMOや地域DMOとの間で、重複区域に関する連携や役割分担等について協議を行った（行っている）か】

当協会は、地域DMO（候補）として志摩市や伊勢志摩コンベンション機構・三重県観光連盟等々各種団体と会議の中で協議を行い、特にそれぞれの役割分担の中で事業を展開している。今般、伊勢志摩観光コンベンション機構では、今後の機構のあり方について企画委員会とは別に、在り方検討会を立ち上げ事業戦略・マーケティング戦略等々、今後の地域連携DMOとして機構の方向性（在り方）・役割分担について市町・各種団体と検討している。

#### 【区域が重複する背景】

伊勢志摩観コンベンション機構は地域連携DMOとして伊勢志摩地域6市町（伊勢市、鳥羽市、志摩市、南伊勢町、玉城町及び度会町）が一体となった面としての観光振興事業を展開している。当協会は、志摩市を軸に今後も伊勢志摩観光コンベンション機構と連携し、受入環境整備を重視し事業展開を行っていく。

【重複区域における、それぞれのDMOの役割分担について】、【前述の役割分担等によって、効率的、効果的な活動の遂行が期待できるか】

当協会としては、役割分担の中で受入環境整備を重視し情報発信・新たな自然体験コンテンツの創出・二次交通の脆弱性対策・案内業務の充実等々しっかりと取り組んでいる。具体的には、ホームページの改修、SNSの積極的な活用、観光案内所（鵜方駅構内）の改修とJNTOカテゴリー3案内所の取得、道の駅「伊勢志摩」案内所の指定管理受託等々、来訪客の満足度を高める事業を展開している。

今後も、志摩市内の観光事業者等との連携のハブ機能を果たすことで、伊勢志摩の地域DMOとして伊勢志摩観光コンベンション機構との連携において、より効率的、効果的な活動が遂行されるものと確信している。

## 10. 記入担当者連絡先

担当者氏名	岡田 英美
担当部署名（役職）	専務理事
郵便番号	517-0501
所在地	三重県志摩市阿児町鶴方 1670 番地 2
電話番号（直通）	0599-46-1112
F A X 番号	0599-43-8321
E - m a i l	t-okada@kanko-shima.com

## 11. 関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県・市町村名	三重県志摩市
担当者氏名	谷水 貴志
担当部署名（役職）	産業振興部 観光課 観光戦略係長
郵便番号	517-0592
所在地	三重県志摩市阿児町鶴方 3098 番地 22
電話番号（直通）	0599-44-0005
F A X 番号	0599-44-5262
E - m a i l	Tanimizu-takashi@city.shima.mie.jp

都道府県・市町村名	
担当者氏名	
担当部署名（役職）	
郵便番号	
所在地	
電話番号（直通）	
F A X 番号	
E - m a i l	

記入日：令和 5年 8月25日

基礎情報

【マネジメント・マーケティング対象とする区域】

三重県志摩市

【設立時期】平成29年4月3日

【設立経緯】

③区域の観光協会がDMOに移行

【代表者】西尾 新

【マーケティング責任者(CMO)】岡田 英美

【財務責任者(CFO)】西崎 巳喜

【職員数】17人(常勤6人(正職員5人・出向等1人)、非常勤11人)

【主な収入】

事業収入 77,495千円、委託事業 61,512千円(令和4年度決算)

会費 7,660千円 事業補助金 6,052千円 等

【総支出】

事業費 122,569千円、一般管理費 32,113千円(令和4年度決算)

【連携する主な事業者】

伊勢志摩観光コンベンション機構、志摩市商工会、志摩スポーツコミッション、志摩市温泉振興協議会等

KPI(実績・目標)

※( )内は外国人に関するもの。

項目		2020 (R2)年	2021 (R3)年	2022 (R4)年	2023 (R5)年	2024 (R6)年	2025 (R7)年
旅行 消費額 (百万円)	目標	( )	( )	71,400 ( )	76,500 ( )	77,400 ( )	78,000 ( )
	実績	37,339 (160)	39,970 (21)	53,122 ( )	—	—	—
延べ 宿泊者数 (千人)	目標	( )	( )	1,300 ( )	1,300 ( )	1,400 ( )	1,800 ( )
	実績	950 (4)	818 (1)	1,236 (4)	—	—	—
来訪者 満足度 (%)	目標	( )	( )	( )	98.0 ( )	98.0 ( )	98.0 ( )
	実績	96.0 ( )	96.4 ( )	97.4 ( )	—	—	—
リピーター率 (%)	目標	( )	( )	89.0 ( )	90.0 ( )	91.0 ( )	92.0 ( )
	実績	87.1 ( )	87.5 ( )	82.8 ( )	—	—	—

戦略

【主なターゲット】

- ・大阪府とその他関西圏、愛知県とその他の中京圏、三重県内のアクティブシニア層とファミリー層
- ・台湾、香港FIT、欧州、米国、訪日リピーター層の上位中間から富裕層およびタイ、東南アジア諸国

【ターゲットの誘客に向けた取組方針】

観光庁の「地域の観光資源の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業」に取り組んでおり、さらに魅力ある海女技術体験、漁師体験、海女・漁師飯出張体験など新しい体験コンテンツの賞品を利活用していく。

【観光地域づくりのコンセプト】

「豊かな自然と共生する歴史・文化・海女に出会えるまち志摩」

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】

- ・日本遺産「海女」、英虞湾、真珠の3大コンテンツを軸に富裕層をターゲットとしたプレミアムツアーを造成、販売、情報発信を行った

【受入環境整備】

- ・横山VIEWタクシーの運行
- ・道の駅伊勢志摩の運営受託

【情報発信・プロモーション】

- ・コロナ終息を見据えたインバウンド誘客活動(リアル、オンライン)
- ・教育旅行誘致
- ・温泉の知名度向上

【その他】

- ・志摩検定の創設(講習、検定)
- ・近鉄との連携(海女さん列車、イベントの運営協力)
- ・自主イベント(志摩フェスタ)の実施

